

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	人権教育・啓発の推進	施策コード	作成者	所属	市民部 人権多文化共生推進室
		14005		役職・氏名	室長 野川 栄治
				電話	0826-42-5630

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり
	主要施策	1.人権が大切にされる地域社会の創造

① 住民意識調査結果	人権フェスティバル参加者アンケートにおいて、参加者50歳以上が87.50%、男性参加率43.48%女性比率54.41%であった。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果 依然として若い人の参加者が少ない。
③ 施策の現状と課題	「人権尊重のまちづくり条例」の制定を行い、市民一人一人が人権を尊重しあい、共に生きる社会の実現を目指して、人権に関する施策を推進しているが、差別を助長する事象も生起しており、啓発活動の充実と継続した取組が必要である。	
④ 施策の意図、今後の展望	・あらゆる人権問題の解決に向けた啓発活動を積極的に推進する。そのために、4つの人権会館を人権啓発の拠点として位置づけ担当者会議・関係者会議で連携しながら、啓発活動と相談業務を確実に実施していく必要がある。 ・生活改善に成果をあげてきた住宅貸付資金等の債権管理を回収と滞納整理を確実に行う必要がある。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
人権を尊重する社会の実現	人権啓発講演会等研修機会の提供	
住宅資金等貸付	債権管理状況 収納率	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
人権講演会参加者数	目標	2170	2370	2370	2370	2370	フェスティバル参加者及び各人権会館講演会参加者	
	実績	2013	2139	1945	—	—		
	達成率	%	92.8%	90.3%	75.9%	—		—
収納率(現年度)	目標	70	70	70	70	70		
	実績	51.27	55.99	54.85	—	—		
	達成率	%	73.2%	80.0%	78.4%	—		—
収納率(過年度)	目標	4.5	3.5	3.5	3.5	3.5		
	実績	1.89	1.92	1.87	—	—		
	達成率	%	42.0%	54.9%	53.4%	—		—
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	221	人権啓発推進事業	1.3.1.1.6.1	2,862	2,588	1,713	0.45	高い	前年度並み配分	
				1,962	2,508	1,633	3,717			
既存 ソフト事業	222	住宅資金等貸付金債権管理事業	1.3.1.6.1.1	2,319	1,420	1,920	0.60	高い	前年度並み配分	
				1,656	829	1,420	4,956			
既存 ソフト事業	216	啓発・広報活動事業(吉田)	1.3.1.7.1.3	1,319	1,324	1,418	0.30	高い	重点配分	
				-429	-511	-348	2,403			
既存 ソフト事業	217	啓発・広報活動事業(八千代)	1.3.1.7.1.4	1,044	1,025	1,225	0.30	高い	重点配分	
				63	44	244	2,389			
既存 ソフト事業	218	啓発・広報活動事業(高宮)	1.3.1.7.1.5	1,715	2,156	2,265	0.30	高い	重点配分	
				-633	-27	60	2,450			
既存 ソフト事業	219	啓発・広報活動事業(甲田)	1.3.1.7.1.6	2,466	2,383	2,731	0.40	高い	重点配分	
				673	590	843	3,210			
合計				11,725	10,896	11,272	2.35			
				3,292	3,433	3,852	19,125			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	講演会参加者数はフェスティバルへの参加が260人と少なかったため、目標数には届かなかった。住宅資金等貸付の滞納督促面談も確実に実施したが、現年度・過年度ともに目標を達成できなかった。
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	住宅資金貸付の収納目標値が現実離れしており、見直しが必要である。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	人権講演会参加者は、複数回参加者はもちろんのこと、新規参加者を増やす工夫が必要である。住宅資金等貸付は、引き続き滞納督促を行いながら、現年度分の請求収納も確実にいき適切な債権管理に務める。

政策への貢献度	高い	市民部長	(氏名)	新川 昭夫
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	多様な機会を通じた人権教育・啓発の推進	施策コード	作成者	所属	市民部 人権多文化共生推進室
		14006		役職・氏名	室長 野川 栄治
				電話	0826-42-5630

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり
	主要施策	1.人権が大切にされる地域社会の創造

① 住民意識調査結果	平成22年度多文化共生アンケート調査を実施し、「多文化共生」という言葉を48.8%を知らず、外国籍のと方との付き合いが全くないひとが48.6%あった。一方、外国籍市民も多様な不便・困りごとを抱えている。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果 日本国籍市民・外国籍市民とも、情報の発信や受信が不十分である。
③ 施策の現状と課題	・過疎化、少子高齢化の進展で、このままでは人口減少が進行してき、不足している労働力を外国人を受け入れて補っている状況であり、現在550人の外国籍市民が在住している。このような状況の中、外国籍市民と日本国籍市民が共に安芸高田市で共生し、参加するまちづくりを進めていく必要がある。 ・人権会館は、地域の最も近くで人権問題解決及び地域特性をふまえた市民ニーズに応じた地域福祉の拠点施設となっている。今後、人権会館活性化に向けた業務の充実が必要である。	
④ 施策の意図、今後の展望	・外国籍市民も同じ地域の構成員として、対等な関係を築きながら社会参画を促すため、多文化共生推進員・通訳員を活用しての情報の受発信を行いながら、多文化共生推進プランの推進に取り組む。 ・市民にとって最も身近な相談窓口として、相談業務の機会と質を確保し、充実する必要がある。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
多文化共生推進	多文化共生推進プラン計画の推進	
人権会館の利用	利用者・団体の増加	
地域との交流	各種イベントの参加者数	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
多文化共生啓発事業の参加者	目標	120	120	120	120	120		リレー講座93名 職員研修137名
	実績	495	242	230	—	—		
	達成率	412.5%	201.7%	191.7%	—	—		
外国籍市民相談実績	目標	160	180	600	600	600		H23.9より開始
	実績	115	938	1533	—	—		
	達成率	71.9%	521.1%	255.5%	—	—		
人権文化祭参加者数	目標	500	500	500	500	500		吉田人権会館
	実績	600	600	400	—	—		
	達成率	120.0%	120.0%	80.0%	—	—		
人権会館利用者数	目標	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500		吉田・八千代・高宮・甲田
	実績	27,903	29,205	31,802	—	—		
	達成率	109.4%	114.5%	124.7%	—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	530	多文化共生推進事業	1.3.1.1.6.1	7,806	7,841	10,811	0.60	高い	重点配分	
				7,806	7,841	10,811	4,956			
既存 ソフト事業	223	地域交流・福祉事業(吉田)	1.3.1.7.1.3	976	789	823	0.20	高い	重点配分	
				-234	-388	-298	1,603			
既存 ソフト事業	224	地域交流・福祉事業(八千代)	1.3.1.7.1.4	218	215	265	0.10	高い	重点配分	
				-365	-368	-318	796			
既存 ソフト事業	225	地域交流・福祉事業(高宮)	1.3.1.7.1.5	0	0	0	0.10	高い	重点配分	
				-764	-764	-735	817			
既存 ソフト事業	226	地域交流・福祉事業(甲田)	1.3.1.7.1.6	1,305	1,234	1,327	0.15	高い	重点配分	
				588	517	572	1,204			
合計				10,305	10,079	13,226	1.15			
				7,031	6,838	10,032	9,376			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明
市民	地域振興会・国際交流協会	共同生活を通じた地域づくり、専門性を活かした地域の国際化など

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	外国籍市民の相談件数も、市の取り組み情報が口コミで広がり、非常に多くの相談があった。人権会館の利用も目標を達成し、市民に必要とされる施設となっている。
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	多文化共生推進プランを実現していくための事業実施と組織づくりが必要である。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	外国人市民と日本人市民が互いの違いを認め合い支え合うまちづくのを目指して、人権会館とともに多文化共生推進プランに基づいた事業実施が必要となる。

政策への貢献度	高い	市民部長	(氏名)	新川 昭夫
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	推進体制の整備	施策コード	作成者	所属	市民部 人権多文化共生推進室
		14007		役職・氏名	室長 野川 栄治
				電話	0826-42-5630

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり
	主要施策	1.人権が大切にされる地域社会の創造

① 住民意識調査結果	特になし	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
	特になし	
③ 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発に関する施策を総合的・効果的に推進するため、人権啓発団体等へ活動費を補助し、地域・事業者・NPO等と協働して啓発事業に取り組んでいる。 ・各人権会館で相談事業を人権擁護委員とも連携して行っている。 	
④ 施策の意図、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題の解決のため、人権啓発推進団体と協働して啓発活動に取り組む。 ・総合相談は、人権擁護委員、人権相談員などの連携強化を図り、体制の充実を図るとともに資質の向上を図る。 ・人権会館の連携を図り、地域の特色にあった啓発活動の推進を図る。 	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
自主活動の活性化	啓発団体の支援内容	
人権相談体制	相談受付数	
人権会館	会館の管理、運営	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
人権相談受付数	目標	1,425	1,625	1,625	1,625	1,625		各人権会館の受付件数合計
	実績	1,445	1,884	2,138	—	—		
	達成率	101.4%	115.9%	131.6%	—	—		
活動支援団体数	目標	4	4	4	4	4		補助金交付団体
	実績	4	4	4	—	—		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—	—		
人権会館等利用者数	目標	26,900	26,900	26,900	26,900	26,900		吉田・八千代・高宮・美土里・甲田
	実績	29,950	30,697	33,236	—	—		
	達成率	113.3%	114.1%	123.5%	—	—		
	目標							
	実績							
	達成率							

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	227	人権啓発推進団体活動支援事業	1.3.1.6.1.1	5,804	5,780	5,803	0.20	高い	前年度並み配分	
				5,804	5,780	5,803	1,652			
既存 ソフト事業	232	関係施設管理運営事業	1.3.1.6.1.1	2,588	1,430	1,203	0.15	高い	前年度並み配分	
				2,588	1,430	1,203	1,239			
既存 ソフト事業	228	人権会館管理運営事業(吉田)	1.3.1.7.6.3	2,645	3,041	2,730	0.35	高い	前年度並み配分	
				57	488	492	2,804			
既存 ソフト事業	233	団体育成事業(吉田)	1.3.1.7.6.3	1,510	1,510	1,420	0.05	高い	前年度並み配分	
				629	1,210	1,133	400			
既存 ソフト事業	238	総合相談事業(吉田)	1.3.1.7.6.3	2,595	2,588	2,618	0.15	高い	前年度並み配分	
				837	722	853	1,202			
既存 ソフト事業	229	人権福祉センター管理運営事業(八千代)	1.3.1.7.6.4	1,528	1,214	1,314	0.35	高い	前年度並み配分	
				127	-187	-87	2,787			
既存 ソフト事業	234	団体育成事業(八千代)	1.3.1.7.6.4	86	70	74	0.10	高い	前年度並み配分	
				-186	-202	-198	796			
既存 ソフト事業	239	総合相談事業(八千代)	1.3.1.7.6.4	1,023	1,050	1,120	0.20	高い	前年度並み配分	
				401	428	498	1,593			
既存 ソフト事業	230	人権会館管理運営事業(高宮)	1.3.1.7.6.5	3,316	2,644	2,777	0.30	高い	前年度並み配分	
				1,341	825	939	2,450			
既存 ソフト事業	235	団体育成事業(高宮)	1.3.1.7.6.5	120	120	120	0.05	高い	前年度並み配分	
				-271	-244	-247	408			
合計				21,215	19,447	19,179	1.90			
				11,327	10,250	10,389	15,331			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	地域の特色に応じ、より地域に密着した啓発として活動し、目標を達成した。
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	地域の特色に応じながらも、啓発・活動内容が重複するものについて、より効率的で効果的な活動が求められる。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	身近な人権相談窓口として相談しやすい環境づくりと、相談員等のスタッフの資質向上に継続して取り組む必要がある。

政策への貢献度	高い	市民部長	(氏名)	新川 昭夫
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策） 【追加シート】

評価対象 施策名	推進体制の整備	施策コード	作成者	所属	市民部 人権多文化共生推進室
		14007		役職・氏名	室長 野川 栄治
				電話	0826-42-5630

3. 施策構成事務事業の評価(その2)

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	240	総合相談事業(高宮)	1.3.7.1.5	2,990 642	3,013 830	3,164 959	0.30 2,450	高い	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	231	人権会館管理運営事業(甲田)	1.3.7.1.6	2,052 -818	2,344 -526	18,286 877	0.20 1,604	高い	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	236	団体育成事業(甲田)	1.3.7.1.6	637 -80	564 -153	624 -131	0.15 1,204	高い	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	241	総合相談事業(甲田)	1.3.7.1.6	2,449 1,373	2,319 1,243	2,386 1,254	0.10 801	高い	前年度並み配分	
小計				8,128 1,117	8,240 1,394	24,460 2,959	0.75 6,059			
合計				29,343 12,444	27,687 11,644	43,639 13,348	2.65 21,390			